

盛岡市の
アート不動産

集って満足度向上へ

交流イベント開催の学生ら対象

盛岡市本宮3丁目のアート不動産(櫻井大介社長)は10日、アパートなど管理物件の入居者の満足度向上につなげようと、学生入居者を対象にした初の交流イベントを開いた。入居者同士が楽しみながら、つながりを持つイベントを定期的に企画。暮らしの充実をサポートすることで、盛岡のファンを増やす狙いもある。

初の交流イベント「切さを語りながら、季や写真撮影のこつを伝は、SNS映え、カフェ感覚を生かす盛り付け」授した。一人ひとりの盛り付け講座!と題し、盛岡市青山3丁目のフールド・アトリエ・ワラクシオン(佐々木朋乃店長)で開かれた。大学生や同社の若手社員ら10人が参加。テーブルには、切り干し大根のナポリタン、パプリカ入りのオムレツなど彩り豊かなおかずが並んだ。

カラーコーディネーターでもある佐々木店長は「味は80%視覚で決まる」とアドバイス。皆で味わう「食」の大



SNS映えする盛り付けに挑戦し交流する大学生ら

り付けに挑戦したあと、料理を囲み懇談。緊張気味だった学生たちもすぐに打ち解け、会話が弾んだ。

県立大総合政策学部1年の碁石あゆみさん(19)は「和気あいあいと交流できて楽しかった。料理は親に任せきりだったけれど、自分でも彩りを考えて盛り付ける工夫をした

い」。同学部1年の林海翔君(19)は「学生が積極的にこういう場に参加することが必要だと思っが、あまり機会がなかった。地域の企業と協力して情報を発信していくきっかけにもなる」と話した。

同社によると、家主向けのセミナーやイベントは、これまでも力を入れてきたが、入居者の満足度向上に着目

した取り組みは初めて。入居後の暮らしの

充実にも「変わることで、他社と差別化を図り、地域にも貢献したい」という。

「暮らしに関わる」と、地域に関わることをテーマに、今後もイ

イベントを企画。今回は新しい入居学生が増える春の開催を予定。櫻井社長は「初めて盛岡で暮らす県外や市外出身の学生も多い。入居者同士のつながり

を提供し、より楽しく日々の生活が送れるようサポートしたい。盛岡を知り、好きになってもらうことが地域の活性化にもつながる」と意欲を燃やす。